

テーマ自由枠進捗について

1 申請の応募及び受付方法

平成 30 年 4 月 2 日より募集を行った。(受付期間 4 月 2 日(月) ~ 5 月 7 日(月)17 時(必着))

2 実証対象技術と応募結果

4 技術において、4 機関(法人)から申請があり、応募結果は、以下の表 1 のとおりである。

表 1 実証対象技術及び応募結果

実証対象技術	予算額 (税込)	実証申請者名と 実証対象製品名	申請した法人 (機関)
1. 空冷室外機の吸引温度低下による空調負荷軽減技術	300 万円	実証申請者名： TC ユニオン株式会社 実証対象製品名： 室外機の省エネカバー	1 機関
2. VOC 等簡易測定技術 (2 技術)	350 万円 (2 技術)	実証申請者名： NISSHA エフアイエス 実証対象製品名： 水素・CO 濃度簡易測定器 SGHA	2 機関
		実証申請者名： NISSHA エフアイエス 実証対象製品名： アンモニア簡易測定技 ODNA	
3. 太陽光パネル感電予防止技術	400 万円	実証申請者名： 株式会社初田製作所 実証対象製品名： PVSTOP(PVSTOP International PTY LTD)	1 機関

3 審査結果

平成 30 年 5 月 30 日(水)に第 1 回分野見直し及び自由テーマ枠運営小委員会を開催し、厳正な審査の結果、環境省にて以下表 2 のとおり実証機関を選定した。

表 2 環境省が選定した平成 30 年度自由テーマ枠の実証機関

実証対象技術	選定した実証機関
1. 空冷室外機の吸引温度低下による空調負荷軽減技術	一般社団法人埼玉県環境検査研究協会
2. VOC 等簡易測定技術(2技術)	公益社団法人日本環境技術協会
3. 太陽光パネル感電予防技術	一般社団法人埼玉県環境検査研究協会

参考：報道発表資料

平成 30 年度環境技術実証事業テーマ自由枠における
実証機関の決定について

平成 30 年度環境技術実証事業のうち、テーマ自由枠において、実証機関を決定しました。

1. 実証機関の選定

環境省では平成 30 年4月2日(月)から5月7日(月)まで、環境技術実証事業テーマ自由枠における実証機関の公募を行い、分野見直し及びテーマ自由枠運営小委員会における厳正な審査を基に、平成 30 年度実証機関を以下のとおり決定しました。

表 平成 30 年度環境技術実証事業テーマ自由枠 実証機関

対象技術	実証機関
空冷室外機の吸引温度低下による空調負荷軽減技術.	一般社団法人埼玉県環境検査研究協会
VOC 等簡易測定技術(2技術).	公益社団法人日本環境技術協会
太陽光パネル感電予防技術.	一般社団法人埼玉県環境検査研究協会

2. 今後の予定

実証対象技術ごとに実証計画を策定し、実証を行う予定です。

参考(背景・経緯)

環境技術実証事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証することにより、環境技術を実証する手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。

(<http://www.env.go.jp/policy/etv/>)

平成 30 年6月4日(月)
環境省大臣官房総合政策課
環境研究技術室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8239
室長 行木 美弥 (内線 6241)
担当 辻川 優祐 (内線 6243)
担当 多田 悠人 (内線 6244)